

2025年度事業計画書

五代武田長兵衛（和敬翁）により、「社会に役立つよう勉学に勤しむ学徒に対し、その学科の如何を問わず、また学業終了後の就職も各自の自由意思に委ねることを前提として返還不要の奨学金を与える」という精神で始められた。和敬翁の遺志を引き継ぎ、志が高く、学術優秀、品行方正な大学生及び大学院生に必要な援助を与え、社会に貢献する人材を支援・育成していく。

I. 方針

指定校における公募推薦制および尚志社の選考委員会制度により、尚志社に相応しい質の高い学生を採用する。また、社友懇話会や奨学生懇談会を通じて、奨学金給付以外の人材育成支援にも積極的に取り組む。このほか、社友の活躍や近況を中心に情報発信を継続し、財団活動に関する内外の理解促進を図る。

II. 事業

1. 奨学生の採用並びに奨学金の支給

2025年度の採用者は59名（新規採用53名、大学院進学による再採用6名）を予定する。この59名と継続の奨学生51名の計110名に対して、下記Ⅲ. の計画に従って奨学金を支給する。

2. 社友懇話会の開催

役員・評議員・先輩社友・奨学生の交流を目的とし、札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、福岡において懇話会を開催する。

3. 機関誌の発行

尚志社の人材育成事業の活動状況や情報提供のために、機関誌「尚志」を年2回発行する。

4. 奨学生懇談会の実施

少なくとも年1回の奨学生懇談会を通じて、奨学生に対する生活指導、助言を行う。

III. 奨学金支給計画

1. 入学金・授業料・その他正規納付額は、実費を限度として支給する。ただし、入学金は 30 万円、授業料・その他正規納入金は 100 万円を限度とする。

2. 奨学金（月額補助分）の支給区分 （単位：円）

区 分	支給額（月額）
大学院博士課程・下宿	80,000
大学院博士課程・自宅	60,000
大学院修士課程・下宿	70,000
大学院修士課程・自宅	50,000
学部 5 年／6 年・下宿	70,000
学部 5 年／6 年・自宅	50,000
学部 3 年／4 年・下宿	60,000
学部 3 年／4 年・自宅	40,000

3. 継続の奨学生（51 名）に対する支給計画 （単位：円）

区分		人数	毎月支給（年額）	授業料他	計
博士課程	下宿	2	1,920,000	1,071,600	2,991,600
	自宅	0	0	0	0
修士課程	下宿	24	20,160,000	13,415,100	33,575,100
	自宅	7	3,900,000	4,046,500	7,946,500
学部 5/6 年	下宿	10	8,400,000	5,465,160	13,865,160
	自宅	3	1,800,000	1,607,400	3,407,400
学部 3/4 年	下宿	4	2,760,000	2,714,560	5,474,560
	自宅	1	480,000	1,000,000	1,480,000
計		51	39,420,000	29,320,320	68,740,320

4. 大学院進学による再採用予定者（6 名）に対する支給計画 （単位：円）

区分		人数	毎月支給（年額）	授業料他	計
博士課程	下宿	5	4,800,000	3,411,100	8,211,100
	自宅	0	0	0	0
修士課程	下宿	1	840,000	817,800	1,657,800
	自宅	0	0	0	0
計		6	5,640,000	4,228,900	9,868,900

注）進学者（大学院）は再選考のうえ、採否を決定する

5. 新規採用予定者（53名）に対する支給計画

$53（名） \times 1,450,000（円、注） = 76,850,000（円）$

注）尚志社奨学生のおよその平均支給額（年額）

6. 海外渡航者（15名：予想数）に対する支給計画（一時的増額）

$15（名） \times 300,000（円、注） = 4,500,000（円）$

注）行先が欧米の場合の支給額

7. 2025年度の奨学金所要額

（3、4、5および6の合計） 159,959,220 円

公益財団法人尚志社

収支予算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	184,568,470	39,691,804	0	224,260,274
基本財産受取配当金	87,771,700	39,691,804		127,463,504
基本財産受取配当金振替額	96,796,770	0		96,796,770
特定資産運用益	7,000	4,000	0	11,000
特定資産受取利息	0	4,000		4,000
特定資産受取利息振替額	7,000	0		7,000
受取寄付金	7,500,000	0	0	7,500,000
受取寄付金	3,000,000	0		3,000,000
受取寄付金振替額	4,500,000	0		4,500,000
雑収益	45,000	0	0	45,000
受取利息	45,000	0		45,000
経常収益計	192,120,470	39,695,804	0	231,816,274
(2) 経常費用				
事業費	210,120,470		0	210,120,470
支払奨学金	159,959,220			159,959,220
社友懇談会費	7,000,000			7,000,000
印刷製本費	5,000,000			5,000,000
役員報酬	5,200,000			5,200,000
選考委員報酬	2,200,000			2,200,000
給料手当	9,800,000			9,800,000
退職給付費用	661,250			661,250
福利厚生費	2,200,000			2,200,000
旅費交通費	6,000,000			6,000,000
通信運搬費	2,000,000			2,000,000
消耗品費	800,000			800,000
会議費	1,500,000			1,500,000
賃借料	2,100,000			2,100,000
業務委託費	5,300,000			5,300,000
雑費	400,000			400,000
管理費		21,501,250	0	21,501,250
役員報酬		3,800,000		3,800,000
給料手当		7,300,000		7,300,000
退職給付費用		501,250		501,250
福利厚生費		1,500,000		1,500,000
会議費		200,000		200,000
旅費交通費		500,000		500,000
通信運搬費		300,000		300,000
消耗品費		400,000		400,000
賃借料		1,400,000		1,400,000
業務委託費		5,000,000		5,000,000
雑費		600,000		600,000
経常費用計	210,120,470	21,501,250	0	231,621,720
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 18,000,000	18,194,554	0	194,554
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 18,000,000	18,194,554	0	194,554
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 18,000,000	18,194,554	0	194,554
他会計振替額	18,000,000	△ 18,000,000		0
当期一般正味財産増減額	0	194,554	0	194,554
一般正味財産期首残高	1,884,504,816	1,086,470,757	0	2,970,975,573
一般正味財産期末残高	1,884,504,816	1,086,665,311	0	2,971,170,127
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取配当金	81,739,056			81,739,056
特定資産受取利息	7,000			7,000
一般正味財産への振替額	△ 101,303,770			△ 101,303,770
当期指定正味財産増減額	△ 19,557,714	0	0	△ 19,557,714
指定正味財産期首残高	2,200,399,326	0	0	2,200,399,326
指定正味財産期末残高	2,180,841,612	0	0	2,180,841,612
III 正味財産期末残高	4,065,346,428	1,086,665,311	0	5,152,011,739